

地域循環共生圏「北信スマートテロワール」

マンダラ図



○戦略的都市計画と資源の掛合わせ



○環境にやさしくサステナブルなインフラ



北信スマートテロワール
農業を核とした自立 (自律) 分散型農村による共 (競) 創ネットワーク

○小布施サーキュラエコノミー
~ごみをゼロに、ゴミから資源に

○アグリレガシーの保管

OBUSE食と農のみのり会議、小布施町大田アックカフェ「じやらん亭」

「種の図書館」プロジェクト ~在来種の保存と学習会の開催

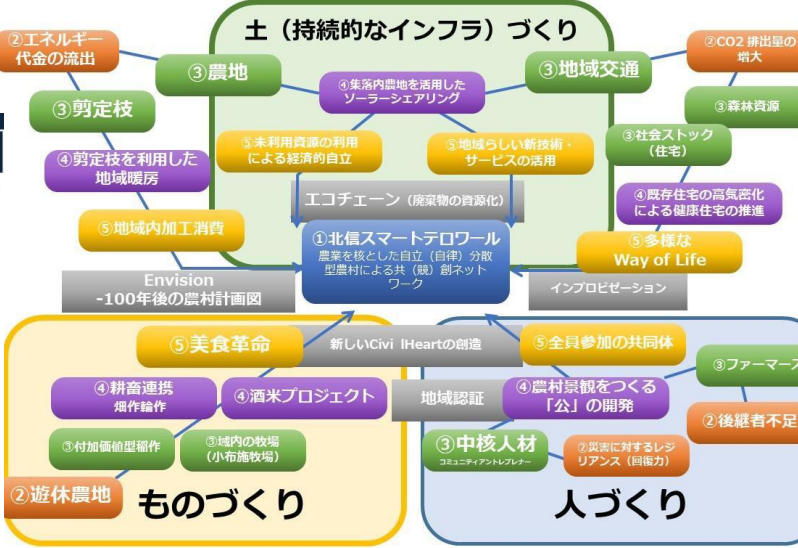
菜園から種を採種して、地元コミュニティに寄付して戻します。大きな種子バンクからのタネを買うのではなく私たちの地元。地域のために誰にも誰もが作物の種を育てることを目指す。

事業1 講習会の開催
広島のランパンク、油田町のランファンクアキ、知事のゆるめら、オーストラリア等、海外情報をもとに学習

事業2 種の図書館の立上げ・運営
OBUSE食と農のみのり会議のメンバー等有機農業を中心に定期的に発行リスト (ミニプロジェクト)

タネの図書館を開く蔵
ブックカフェ「じやらん亭」

災害関係の書籍多数、農業関係の本も保管。ここに種も保管していく



農業のEV化、地域交通の電源
電気の農業利用 (農業分野の石油エネルギー削減)
直射を避けるべき作物を試験栽培

地域建材を用いたウェルネス (健康) 住宅

○周辺の森林の木材を活用 (戦後60年を経て更新、造林計画を検討)
○1980年以前、あるいは前後の住宅を対象に、高気密・高断熱化
○県産材を用いることで、室内環境、景観にも寄与
○環境にやさしい住宅の実現により、環境以上に生活環境の向上として浸透を図る

例: 既存住宅ストックと近隣町村の森林資源を活用し、健康で環境に優しい新たな住宅景観を創造

地域の住宅に利用を検討

内装材、外装材として加工

地域木材で景観に寄与

対象地域の住宅でウェルネス化の実現によってどれだけの削減RE100に効果があるかを試算
つくることに加え、地域資源を使い
省エネすることの目標を把握

RE 100

住宅のスマートウェルネス化

空き家を高気密・高断熱化
既存住宅にヒートショック防止の改修

■ 遊休農地を活用した新たなプロダクト開発

○小布施町にも1.8haの遊休農地があり、今後増えていく可能性がある
○町の北部に広がる水田を置換し、加工向けの農産物を生産。ただし、小布施は農村景観をもち守りたいので施設園芸は避けたい。
○有力な加工業者、販路をデザインし、生産から販売まで一体的に考える。



健康で環境に優しいウェルネス住宅プロジェクトともリンク



○地域のレジリエンス 災害復興のための、しなやかな強さ

